

第76回 北区少年野球大会運営規程（令和8年5月10日～31日）

1. 本大会は2026公認野球規則及び競技者必携記載の関連規程、ならびに北区少年野球連盟「大会規程と注意事項」を適用する。

ただし、大会運営にあたってはこの規程を優先する。また、安全管理のため、危険なプレーは一切禁止する。

（1）参加資格

北区在住、在学者及び北区内在チームで次の該当者（男女を問わない）

- ① Aクラス…中学生
- ② Bクラス…小学5・6年生（4年生を含んでもよいが、その選手はCクラスと重複して登録はできない）
- ③ Cクラス…小学3・4年生（1～2年生を含んでもよい）
- ④ 上記①～③に登録した女子選手は、別途女子単独チームにも登録し出場できる。
- ⑤ 4年生はBクラスに出場できるが、投手としては出場できない。

（2）表彰

各クラス 1位、2位（各1チーム）、3位（2チーム）

（3）試合の回数と制限時間は〈決勝戦含め〉次のとおりとする

- ① Aクラス：7回 制限時間1時間30分、コールドあり
 - ② Bクラス：6回 制限時間1時間30分、コールドあり
 - ③ Cクラス：5回 制限時間1時間10分、コールドあり
- この制限時間を超えたら新しいイニングへは入らない。

（4）コールドゲームは次のとおりとする

- ① Aクラス：4回以降の均等回の得点差 7点以上
- ② Bクラス：3回終了時の得点差 9点以上
4回以降の均等回の得点差 7点以上
- ③ Cクラス：3回以降の均等回の得点差 9点以上

（5）上記（3）の回数を消化したとき、又は制限時間を超えた最初の均等回を終了したときに同点の場合は、延長戦を行わず、抽選で勝敗を決める。

（6）ブークは次のとおりとする

- ① A・Bクラス：適用する
- ② Cクラス：ブークを宣告しボールデッドとするが、ブークでのアウトを認めず元の塁に戻る。セーフはそのままとする。

（7）変化球について

B・Cクラスは変化球を禁止する（自然の変化か、そうでないかは球審の判定により、これに対する抗議は認めない）。

（8）選手（野手）が試合中の怪我・熱中症等により手当が必要と審判員が判断した場合、再出場

を前提に一時的に他の者と代って試合から離れることを認める。なお、この場合には審判員の指示に従うこと。

(9) 走者（打者走者含む）が負傷などで治療が長引く場合は、審判員の判断で臨時代走（打順の前位の者、ただし投手及び捕手を除く）を認める。

ただし、打者が頭部にヒット・バイ・ピッチ（デッドボール）を受けた場合には、球審はただちに臨時代走の処置を行う。

(10) 守備の時間が長い場合には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設ける（この時間はロスタイム扱いとする）。

(11) 投手の投球制限

① Aクラス……1人1日100球で投手交代とする。

Bクラス……1人1日70球で投手交代とする。

Cクラス……1人1日60球で投手交代とする。

② 一度投手を離れた投手が投球制限内で他守備に付いている場合は、投手の再登板を認める。

③ 投球数カウンターは両チームの保護者が担当し、相手側チームの投手の投球数をカウントする。

(12) Bクラスは1イニング9点、Cクラスは1イニング7点で攻守交代とする。

(13) DH制は採用しない。

2. 用具について

(1) 金属製バット、ハイコンバットは全日本軟式野球連盟で公認されたものを使用すること。ただし、B・Cクラスでは、一般用バットのうち、打球部にウレタン・スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。

(2) キャッチャーは全日本軟式野球連盟公認のプロテクター、レガーズ、ファウルカップ、及び全日本軟式野球連盟公認かつSGマーク付のヘルメット、フェイスマスク（キャッチャーマスク）を着用すること。

(3) B・Cクラスは金属製スパイクの使用を禁止する。

(4) Aクラスのスニーカーは禁止する（靴底が樹脂またはイボスパイクは可）。

(5) 打者、走者、次打者及びベースコーチは規定のヘルメットを着用のこと。

(6) 大会使用球 Aクラス - M号、 B・Cクラス - J号

3. 注意事項

(1) 1チームの参加申込みは、10名以上とし、上限は設けない。ただし、試合は9名以上で出場とする。また、同一チームで申し込む場合はA・B・Cの3チームまでとする。

(2) 不正登録のあった場合は没収試合とする。登録選手の変更はそのチームの初戦開始までに大会本部へ届けること。

(3) 組み合わせを決める際の抽選順位はスポーツ推進課スポーツ支援係での申込み受付順とする。

(4) 各チームの会場への行き帰りには各クラスとも成人の引率責任者が同伴すること。また、B・Cクラスは引率責任者の他に成人の付添いを2人以上つけること。

- (5) チームの責任者は、試合開始30分前までに試合予定面の審判員メンバー表を提出すること。遅れてくる選手には○印をつけること。
- (6) 試合開始定刻に集合しないチームは棄権とみなす。各クラス共、引率者が同伴しないチームも同様とする。
- (7) 試合を欠場の場合は、事前に大会本部へ連絡すること。
- (8) 試合の進行状況により、開始時間が早まる場合及び、グラウンドを変更することがある。
- (9) 試合服装は、選手はユニフォームに背番号をつけ、監督、コーチ及びスコアラーはユニフォームまたはスポーツウェアを着用のこと。なお、背番号は監督30番、コーチ28・29番、主将10番、選手は0～99番とする。
- (10) ベンチは組合せの若い番号を一塁側とする。先攻、後攻は試合開始前に審判員立会いのもとジャンケンで決定する。
- (11) ベンチに入れるのは登録された選手および監督ならびに2名のコーチ、1名のスコアラーとする。熱中症対策として、保護者3名以内をベンチに入れることができる。
- (12) ベンチ内での電子機器（携帯電話・パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- (13) コーチボックスには必ずヘルメットを着用した選手が入ること。
- (14) 次のバッターは、ウェイティングサークルで、ヘルメットをかぶり、立って待機すること。
- (15) ルールに基づく内容について抗議できるのは、当該プレーヤーと監督のどちらか1名のみとする。
- (16) ファールボールは、Aクラスは攻撃側、B・Cクラスは打球に近いチームの選手が拾いに行くこと。
- (17) 試合中はもちろん、グラウンド内は、好ましくない行為やヤジ、過度の応援を禁止する。また、応援席のヤジや行為はチームの責任となるので、注意すること。
◎特に投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。
◎没収試合の場合もあり得る。
- (18) ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- (19) 試合終了後、両チームの選手はグラウンド整備をすること。
- (20) 試合終了後、両チーム共ゴミは責任をもって持ちかえること。
- (21) グラウンドは全面禁煙とする。また、グラウンド周辺の河川敷等での喫煙も自粛すること。
- (22) 参加チームは、スポーツ保険に加入していること。
- (23) 怪我等の場合は、大会本部にて応急処置のみ行う。

(24) 雷注意報や警報の発令及び雷が発生した場合は、協議の上速やかに試合を中止する。

(25) 試合当日が雨天の場合は、各チームより大会本部へ問い合わせること。

※各日とも午前7時に確定するので、それより前には問合せしないこと。また、問合せはチームの代表者のみとし、同一チームはクラスごとに問い合わせせずに、1名の代表者のみの問合せとすること。

大会本部 電話 090-3210-9324 (午後4時まで)

(26) <参考>として「北区軟式野球連盟試合情報」ホームページにトーナメント表・試合日程・試合結果・雨天中止のお知らせを掲載するので、参照すること。